

[新版] 国土が日本人の 謎を解く

著者：大石 久和
発刊：産経新聞出版
定価：968 円（税込）



平成27年に単行本として発行された、当協会大石会長の「国土が日本人の謎を解く」が本年1月に新書として発行された。

わが国が経済的に競争しているヨーロッパ中心部、北アメリカ、中国の平原部と比べると、彼らにはない厳しい自然条件がわれわれには与えられている。複雑で長い海岸線、細長い弓状列島、四島に分かれた国土の主要部分、縦貫する脊梁山脈、不安定な地質、狭く少ない平野、軟弱地盤上の都市、大地震、集中豪雨、強風、豪雪などである。そして、このような自然条件の国土で、地震や風水害、飢饉などによって愛する者を失ってきた歴史がある。

このような国土のもつ自然条件や国土の上で経験してきた自然災害、飢饉やそれに対するわ

れわれの処し方は、日本人の感性や自然観、社会観そして思考の型をどのように育んできたのだろうか。

本書では、日本人が長い歴史の中で国土の自然条件から得た経験を他国と比較し、「日本人」について解き明かされている。

さらに、新版の序文では、コロナ禍に対して、世界各国と同じような強制的な都市封鎖ができないことについて、国土の視点から論じられている。

この度の新版の発行を機に、本書を読んで、日本人の強みと弱みとは何か、それらはどのようにしてもたらされてきたのか、失われてきた「日本人」を取り戻すにはどうすればよいのか、改めて考えてみてはいかがだろうか。

主な内容

序章 「日本人」は何を経験し何を経験しなかったか
第1章 歴史を動かした国土と災害・飢饉
第2章 なぜ「日本人」は生まれたのか
第3章 なぜ日本人は世界の残酷さを理解できないか
第4章 なぜ日本人は権力を嫌うのか

第5章 なぜ日本人は中国人とここまで違うのか
第6章 なぜ日本人には長期戦略がないと言われるか
第7章 なぜ日本人はグローバル化の中で彷徨っているか
おわりに 日本人の強みは集団力